

Q1

自立活動の指導とは何ですか？

A1

障がいのある児童生徒が、障がいによる学習上又は生活上の困難を**改善したり、克服したり**するための指導です。

詳しくはこちら



○ 自立活動の意義

学校教育においては、学校の教育活動全体を通じて、児童生徒の人間として調和の取れた育成を目指しています。しかし、障がいのある児童生徒は、日常生活や学習場面において様々なつまづきや困難が生じるため、**調和の取れた育成を支える基盤に着目した指導**を行う必要があります。それが自立活動の指導です。

A小学校・第5学年（自閉症・情緒障がい特別支援学級の児童）の自立活動の指導例

●人との関わりへの自信と意欲を取り戻し、コミュニケーションの力を高めるために！

障がいによる学習上 又は生活上の困難

表情や態度から相手の状況や心情を読み取ることが難しく、話し言葉や文字のみを読み取って判断したり、無意識に相手を傷つけることを言ってしまうたりする傾向がある。



自立活動の指導

少人数の安心できるグループで、人と関わる自信と意欲を育てながら、話し合ったり、協力したりする課題に取り組む。

また、一週間の出来事をシンボルや簡単な絵などを手掛かりに聞き取り、そのときの気持ちや状況を教師と一緒に整理する。



困難の改善・克服

誘う、断る、励ます、説明する、質問するなど、人と関わるために必要なコミュニケーションの仕方を知り、相手の心情を考えて使用することができるようになった。

